



# 真龍小便り

【学校の教育目標】  
☆心と体をきたえる子  
☆美しい心をもつ子  
☆考えて行動する子  
☆生き生きと学ぶ子

No.5 令和7年7月25日発行

## 今年だけの思い出

校長 廣瀬 巧

夏真っ盛りです。新学期から4ヶ月が経過し、もう夏休みを迎えます。近年は、家ですることがないので学校の方がいいという子も多くなっているとも聞きますが、子ども達にとっては待ちに待った休業かと思います。私が子どもの頃もうれしくて仕方ありませんでした。では、何がそんなに魅力的なのか。授業がない、自由な時間が増える、旅行など特別なイベントがある、友達や家族との時間が増える、などでしょうか。夏休み中に行楽の予定のあるご家庭もあることでしょう。予定はなくても団らんの時間など素敵な時間が増えることと思います。そういった特別な時間や経験ができるのは、子ども達がゆっくりと過ごす時間があるからだともいえます。夏休みは家庭で自主的・自律的な生活を送ることが期待されています。計画的で不規則ではない生活をしましょう、ということです。特段難しいことでもないと思うのですが、次第になんとなく生活してしまうこともあります。「いや、これはまずかったな、明日はこうしよう」「今日は充実していたから明日もこうしよう」などと生活を振り返り、調整しながら毎日を元気に過ごすことを願っています。

それからもう一つ。今年の夏休みはこれを頑張ったとかこれをやり遂げた、という思い出に残る経験をしてほしいです。旅行なども素晴らしい経験ですが、子ども達が自分で見つけ、自分で求め、自分でやり遂げる、という主体的な経験をしてほしいのです。それは何も勉強でなくてもいいのですが、できればゲームなどではなく、もの作りや調べ物など、後に生きるものがよいです。時間のかかるものは平常時にはなかなか取り組みませんが休み中なら可能にもなります。じっくりと物事に取り組みながら、気づいたり感じたりする経験をたくさん積んでほしいと思います。宿題だからではなく、自分の中にある好奇心を満たすための経験は、これからの人生により有益になるはずです。夏休み明けには、今年だけの思い出をもって登校してくれることを期待しています。

話は変わりますが、私はよく失敗します。わざわざ紹介するようなことでもないのですが、大体失敗するときには、ついとかうっかりとかそんな原因が多いのです。それから注意不足、勘違い、雑な作業。自分が失敗したときは謝るように心がけてはいるものの事前に気をつけていればいいだけの話でもあります。

子どもは成長の途上ですから、失敗も大切な経験です。しかし、できれば避けたい失敗の一つに「デジタルシチズンシップ」があります。インターネットやSNS、スマホなどのデジタル社会を利用するときに適切なマナーやルールを守り、責任を持って行動することを指します。特に「ルールを守る」「自分や他人の安全を守る」「テクノロジーを正しく活用する⇒使いすぎない」ことが重要となります。面と向かって人と話すときには、誤解や勘違いですむような話でもデジタルの社会ではそうはならないこともあります。便利なものを便利に使うためにはルールを守ることが必要です。長期休業中、ご家庭でも繰り返し使い方やマナーについて話す機会を設けたり確認したりして、安心安全を確保していただけるとありがたいです。

| 日  | 曜 | 8月の主な行事                              |
|----|---|--------------------------------------|
| 1  | 金 |                                      |
| 2  | 土 |                                      |
| 3  | 日 |                                      |
| 4  | 月 |                                      |
| 5  | 火 |                                      |
| 6  | 水 |                                      |
| 7  | 木 |                                      |
| 8  | 金 |                                      |
| 9  | 土 |                                      |
| 10 | 日 |                                      |
| 11 | 月 | 山の日                                  |
| 12 | 火 | 学校閉庁日                                |
| 13 | 水 | 学校閉庁日                                |
| 14 | 木 | 学校閉庁日                                |
| 15 | 金 | 学校閉庁日                                |
| 16 | 土 |                                      |
| 17 | 日 |                                      |
| 18 | 月 |                                      |
| 19 | 火 |                                      |
| 20 | 水 |                                      |
| 21 | 木 |                                      |
| 22 | 金 |                                      |
| 23 | 土 |                                      |
| 24 | 日 |                                      |
| 25 | 月 | 講話朝会 前期第2ステージ開始                      |
| 26 | 火 | 短縮日課 夏休み作品展(～9月1日)                   |
| 27 | 水 | スクールカウンセラー来校日 6年劇団四季 ミュージカル鑑賞 児童委員会⑥ |
| 28 | 木 | 短縮日課 着衣水泳(6年) 1年生読み聞かせ(お昼の真小タイム)     |
| 29 | 金 | 短縮日課                                 |
| 30 | 土 |                                      |
| 31 | 日 |                                      |

### 8月の帰宅時刻 18:00

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

## 栄養教諭による「お昼の放送」で楽しく食育！

今年度より、厚岸町の学校給食の栄養管理や児童生徒への食育を推進する栄養教諭が本校に配置されました。これに伴い、毎日給食の時間に、栄養教諭が校内放送を通じて子ども達に給食や食べ物に関する話を届けています。この放送は、子ども達が食べ物に関心を持ち、より健康的な食習慣を身につけられるようにする“食育”の一環として行われています。

放送では、その日の給食に使われている食材の産地や旬の特徴について紹介し、どのような栄養が含まれているか、食べることでどんな働きをするかなどを、子ども達にもわかりやすい言葉で伝えています。また、食事のマナーや、食べ物を作ってくださる方への感謝の気持ちを忘れずに、という大切なメッセージも込められています。

さらに、低学年の子ども達にも楽しみながら聞いてもらえるよう、「〇〇はどこでとれたでしょう？」「今日は体のどの部分を元気にする栄養が入っているでしょう？」といったクイズ形式の内容も取り入れられており、教室からは子ども達の歓声が職員室まで聞こえてきます。子ども達は放送を通して、普段はあまり意識していなかった給食や食材に興味を持つようになり、「今日はどんな話かな？」と楽しみにする声も聞こえるようになりました。

今後も、この取り組みを通じて、子ども達が食に対する理解と関心を深め、健やかな成長につながるような食育を進めてまいります。



## 地引網体験学習

7月9日（水）、本校近くの真栄の海岸で、4年生が地引網体験学習を行いました。昨年度は雨天のため中止となってしまいましたが、今年度は好天に恵まれ、無事に実施することができました。

当日は、翔洋高校の先生方や生徒の皆さんにご指導いただきながら、子ども達は力を合わせて網を引きました。網にはカレイや小さな魚などが入り、子ども達は海の生き物との出会いに目を輝かせていました。

また、干潟ではあさり掘りやサワガニ捕りにも挑戦し、海の恵みを実感しながら、厚岸の自然の豊かさについて学ぶことができました。翔洋高校の皆さん、今年も貴重な体験をありがとうございました。



## 真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『勇気の花がひらくとき

～やなせたかしとアンパンマンの物語～』

梯 久美子/文(フレーベル館)

真龍おはなし隊 持家 恭子

朝の連続テレビ小説「あんぱん」の放送に併せ、書店にはアンパンマンの生みの親であるやなせたかしさんに関する本が沢山並んでいます。

その特設コーナーを眺めていると、1冊の本の帯の言葉を見つけ、思わず手に取りました。

「誰もが認めるすばらしい作品を世に出すことよりも、身近な人に親身に接し、地道に仕事をして、与えられた命を誠実に生き切ることのほうが大切だ。」

5歳の時にお父さんを亡くし、お母さんは別の人と結婚し、やなせさんは親戚の家に預けられます。唯一一緒にいた家族の弟を戦争で失い、寂しい気持ちをずっと抱え続けた人生。

命の尊さを知っているからこそ、自分の顔を食べさせる優しく時に弱いヒーローが生まれます。

この本は、小学生（中学年以降）にも読みやすい文章で書かれたやなせさんの伝記です。

きっとどの子も一度は夢中になったアンパンマン。

アンパンマンの誕生に秘められた作者の人生や願い、読むと胸がいっぱいになります。

※厚岸情報館の児童書コーナーにあります。



## 学校閉庁日のお知らせ

8月12日（火）～15日（金）の4日間、学校閉庁日となっております。詳しくは、本日配付しました別紙文書にてご確認ください。

## 緊急連絡体制について

夏休み期間中、交通事故等の緊急連絡が必要な場合は、学校までお電話ください。学校閉庁期間中に学校へ緊急連絡が必要な場合には、厚岸町役場（52-3131）まで連絡をしてください。役場から、校長または教頭へ連絡が入ることとなります。その際は、「①保護者の氏名 ②連絡先電話番号 ③学校名 ④児童の氏名、学年・組」を、忘れずにお伝えください。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。  
結果につきましては、今後分析を行った後、前期第2ステージ開始後にお伝えいたします。